

松葉の会繋がりサポーター養成講座 実施報告

最近自分の身近な所で高齢者の一人住いの方が増え、関わり方の見直しを考えていた時につながりサポーター養成講座を学ぶ機会を得る事が出来ました。孤立、孤独は誰でも起こりえる事です。人間関係の複雑化によって深刻化している事だと思います。孤立の方は周りに頼れる人が居ない、孤独の方は周囲に心を通せる人が居ない、どちらも人とのつながりが少ない事で元気がなくなっていく、そんな状態といえると思います。それには健康を害する要因の一つになると思います。

日常の「気づき」身の回りの人に関心を持つ事、「声かけ」日々の挨拶などの小さな関わりによって孤立、孤独を少しでも早くに防ぐことが出来る自分にできる一歩だと思います。また、必要に応じて適切な相談へとつないでいき、相談窓口や支援制度を紹介してさし上げる事。

最後に学んだ事

○周囲との小さなつながりの重要性について深く学ぶ事が出来ました。

○養成講座を学び、孤立と孤独の違いや一人で抱え込まない事の大切さを学びました。

繋がりサポーター養成講座での「マジックショウ」の様様

